

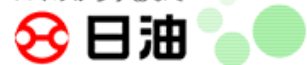
業績説明会資料

経営の現況について

2012年5月23日

 **日油** 株式会社

バイオから宇宙まで



本日の報告内容

■ 2013中期経営計画

■ 2013中期経営計画の進捗状況

2013中期経営計画

日油グループの目指す分野

ライフサイエンス分野

ワクチン用材料

遺伝子治療用材料

核酸治療用脂質

医薬用修飾剤

アンチエイジング材料

新コンタクトレンズ材料

再生医療用材料

医薬用安定剤

アイケア製品

医療用栄養食

健康食品

食用油脂

脂肪酸誘導体

(メタ)アクリル酸誘導体

有機過氧化物

EO・PO誘導体

防衛用推進薬

産業用爆薬

電子・情報分野

透明導電性材料

有機無機ハイブリッド材料

タッチパネル用機能フィルム

光機能性材料

レジスト材料

FPD用材料

RFIDタグ

電解液用材料

トナー用添加剤

花粉抑止剤

水処理膜用薬剤

高耐食性防錆剤

防曇塗料

高耐久性コート材料

機能性エラストマー

冷凍機用潤滑剤

海洋開発機器

環境・エネルギー分野

コア技術

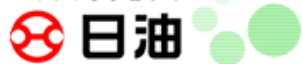
新技術の開発

既存製品

新規開発品

次世代新製品

バイオから宇宙まで

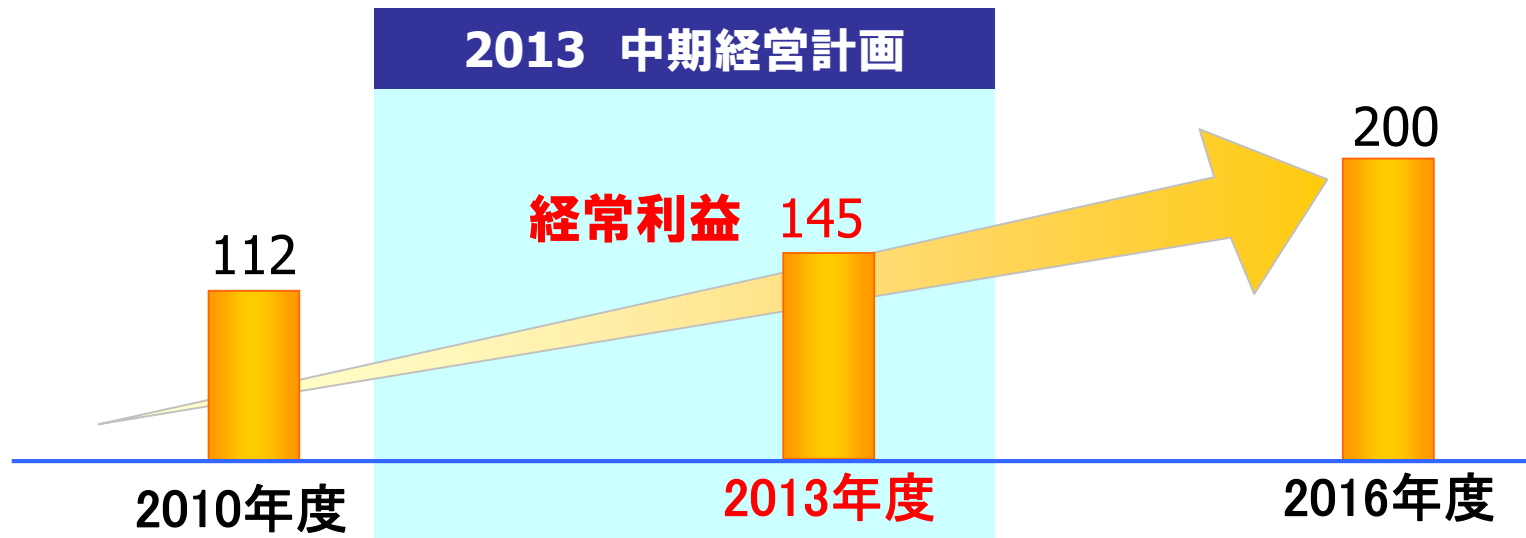


経営の現況-4

日油グループの目指す姿

－ ビジョン(ありたい姿)－

ライフサイエンス、電子・情報、環境・エネルギー、3分野において
独創性のある製品を提供し続けることによって人と社会に貢献し、
持続的に成長・発展する企業グループ



2013中計の基本方針

基本方針

1 技術開発力の強化

2 海外展開の加速

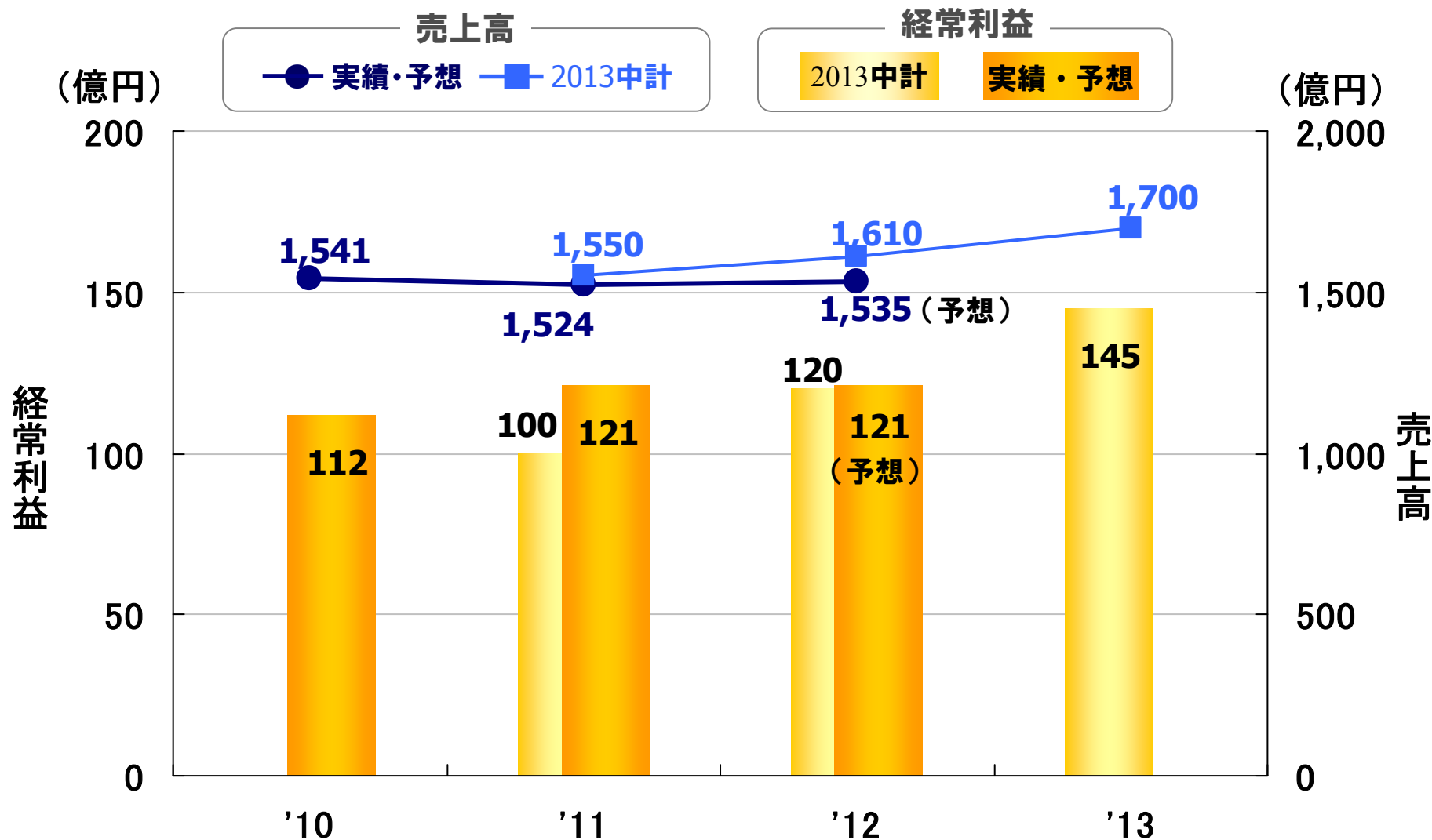
3 収益基盤の強化

4 経営システムのグローバル化

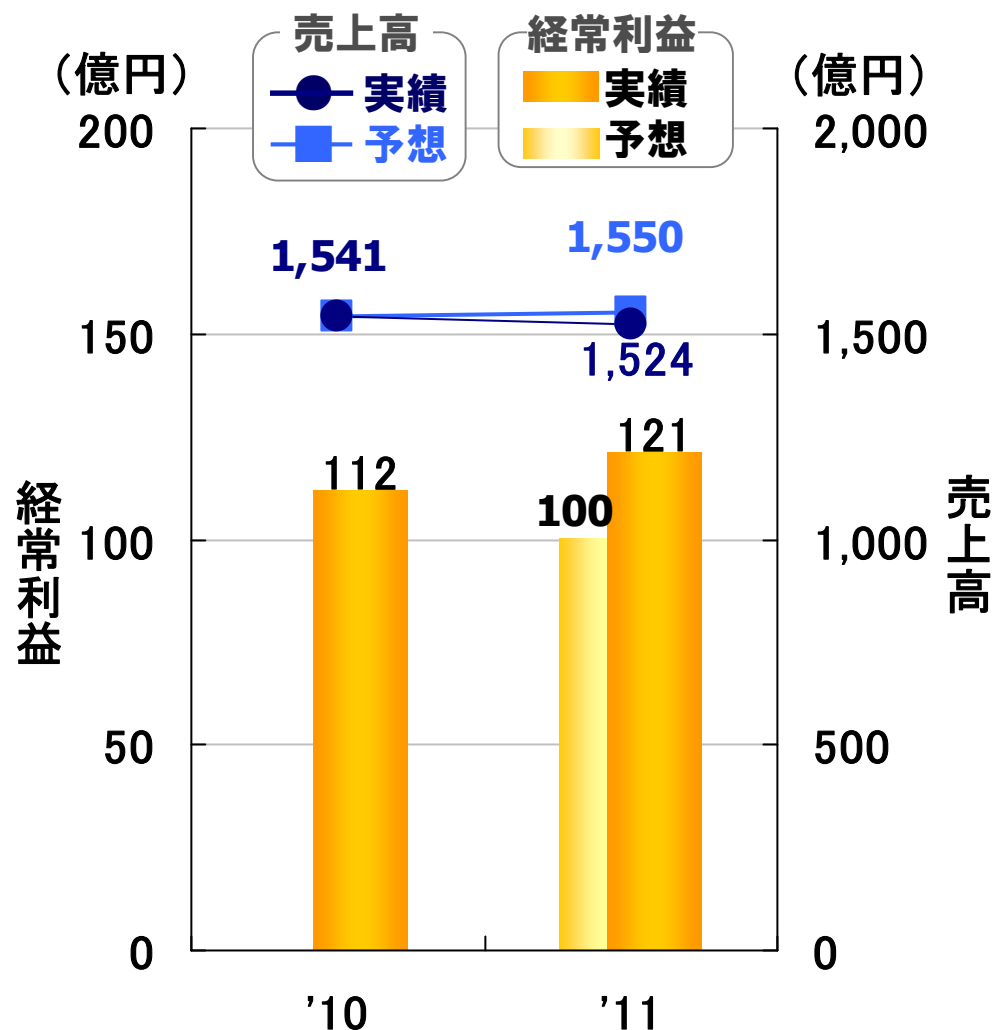
2013中期経営計画の進捗状況

進捗状況①

売上高および経常利益の推移



2011年度売上高・経常利益対前期比較



対前年比較

【売上高】

(プラス要因)

- ・高付加価値製品の拡販
- ・価格改定

(マイナス要因)

- ・震災・景気減速による売上高減少
- ・選択と集中

【経常利益】

(プラス要因)

- ・高付加価値製品の拡販
- ・選択と集中、コストダウン
- ・価格改定

(マイナス要因)

- ・原燃料価格高騰
- ・減販

2012年度 想定事業環境

国内経済：緩やかに回復

海外経済：減速・成長鈍化

| | | 2013中計 | 2011年度 (実績) | 2012年度 (想定) |
|----------------------|---------|--------|----------------|----------------|
| パーム油価格 (FOBマレーシア) | US\$/MT | 1,135 | 1,100 | 1,150 |
| 国産ナフサ価格 | 円/KL | 56,000 | 55,000 | 60,000 |
| 為替レート | 円/US\$ | 85 | 79 | 80 |
| | 円/EUR | 110 | 110 | 105 |

事業環境変化への対応

東日本大震災など大規模な自然災害と世界経済の減速で**事業環境が変化**



電子・電器業界の国内劣勢、安価品の国内流入、顧客企業の海外シフト

《国内市場の縮小》



▶低成長下でも拡大が期待できる「ライフサイエンス」、
「環境・エネルギー」分野へ経営資源を投入

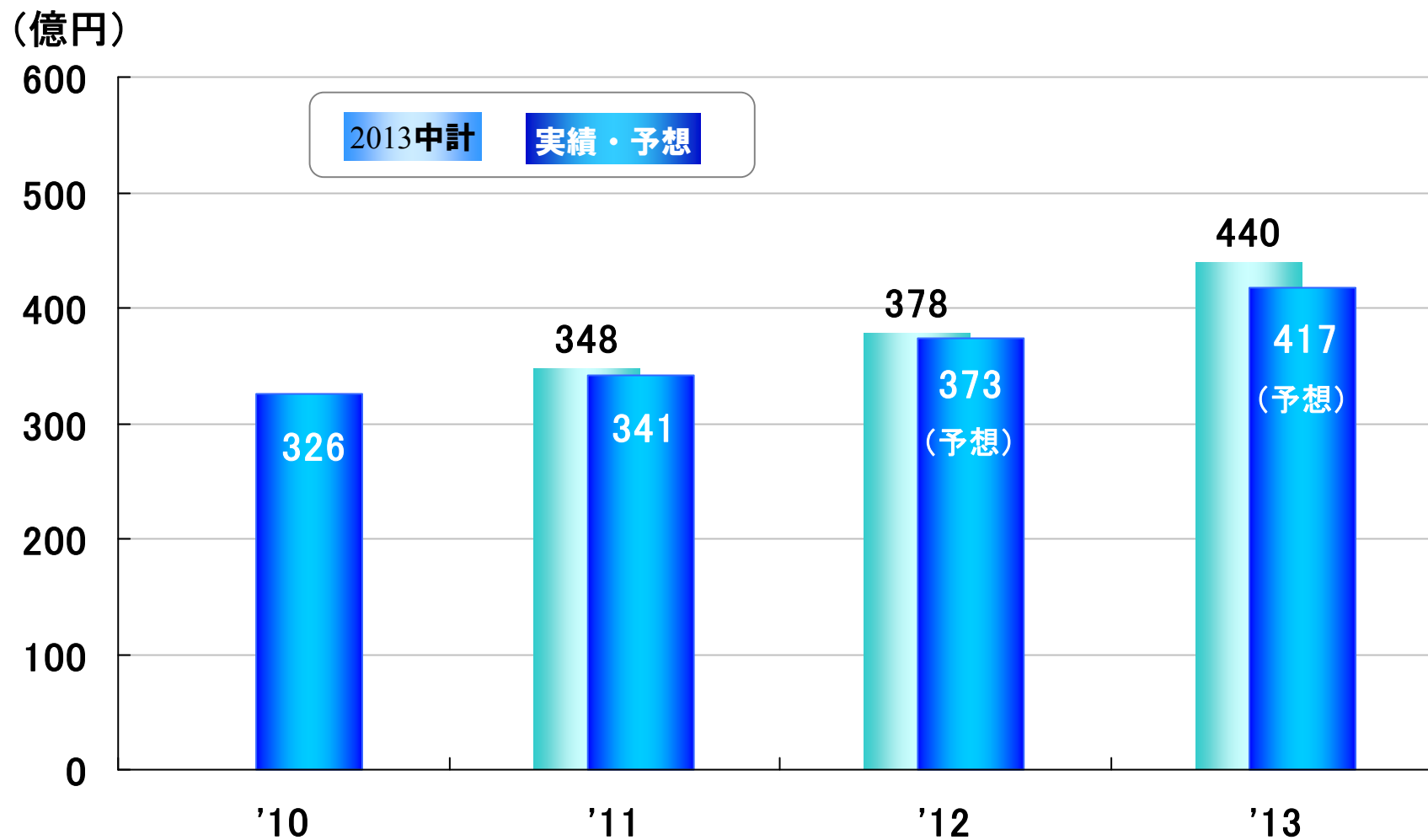
- 高付加価値製品の拡販
- 海外展開の加速
- 生産性の向上
- 選択と集中

＜2013中計基本方針＞

1. 技術開発力の強化
2. 海外展開の加速
3. 収益基盤の強化
4. 経営システムのグローバル化

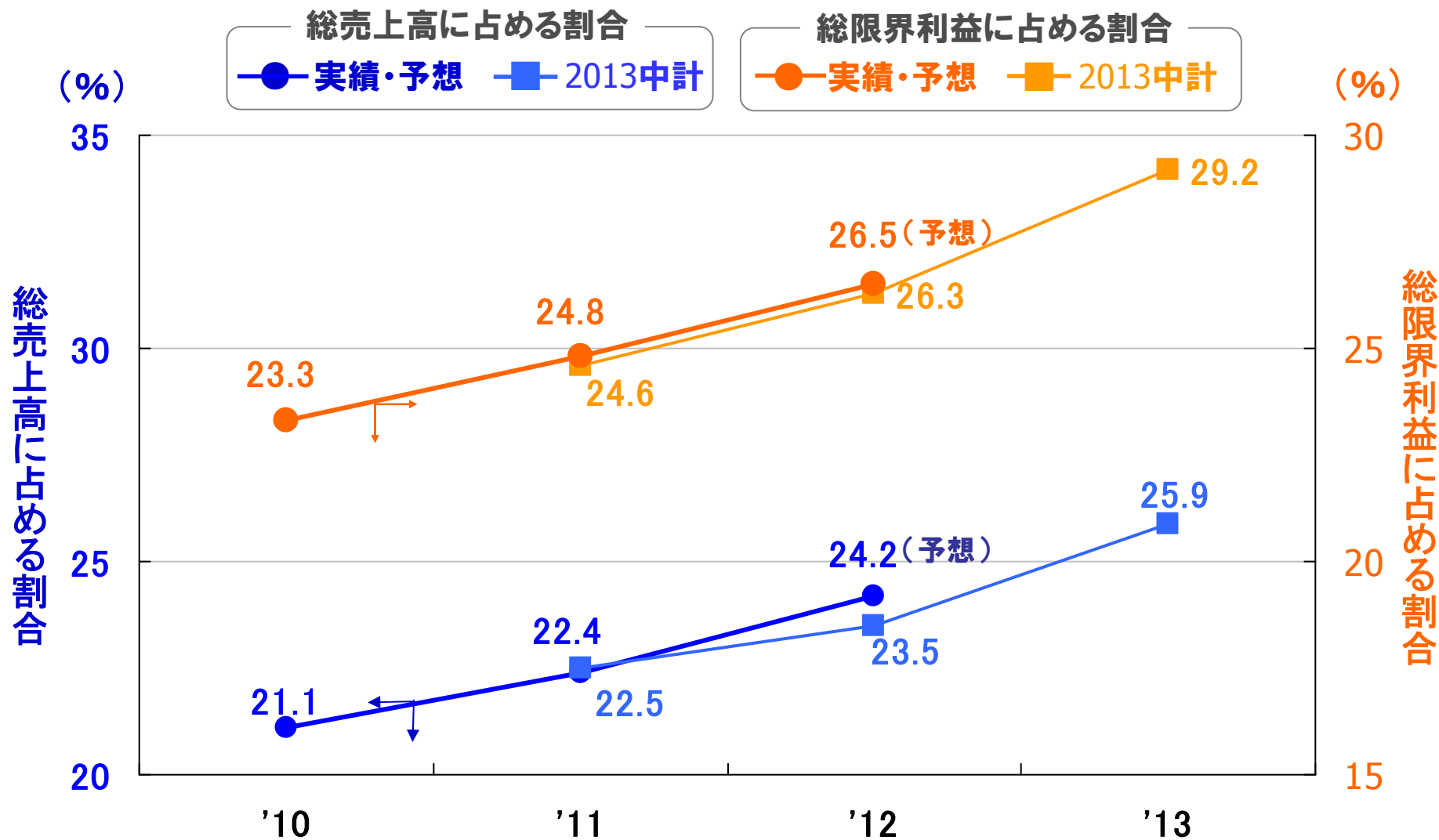
1.高付加価値製品の拡販

1-1. 高付加価値製品売上高の実績・計画



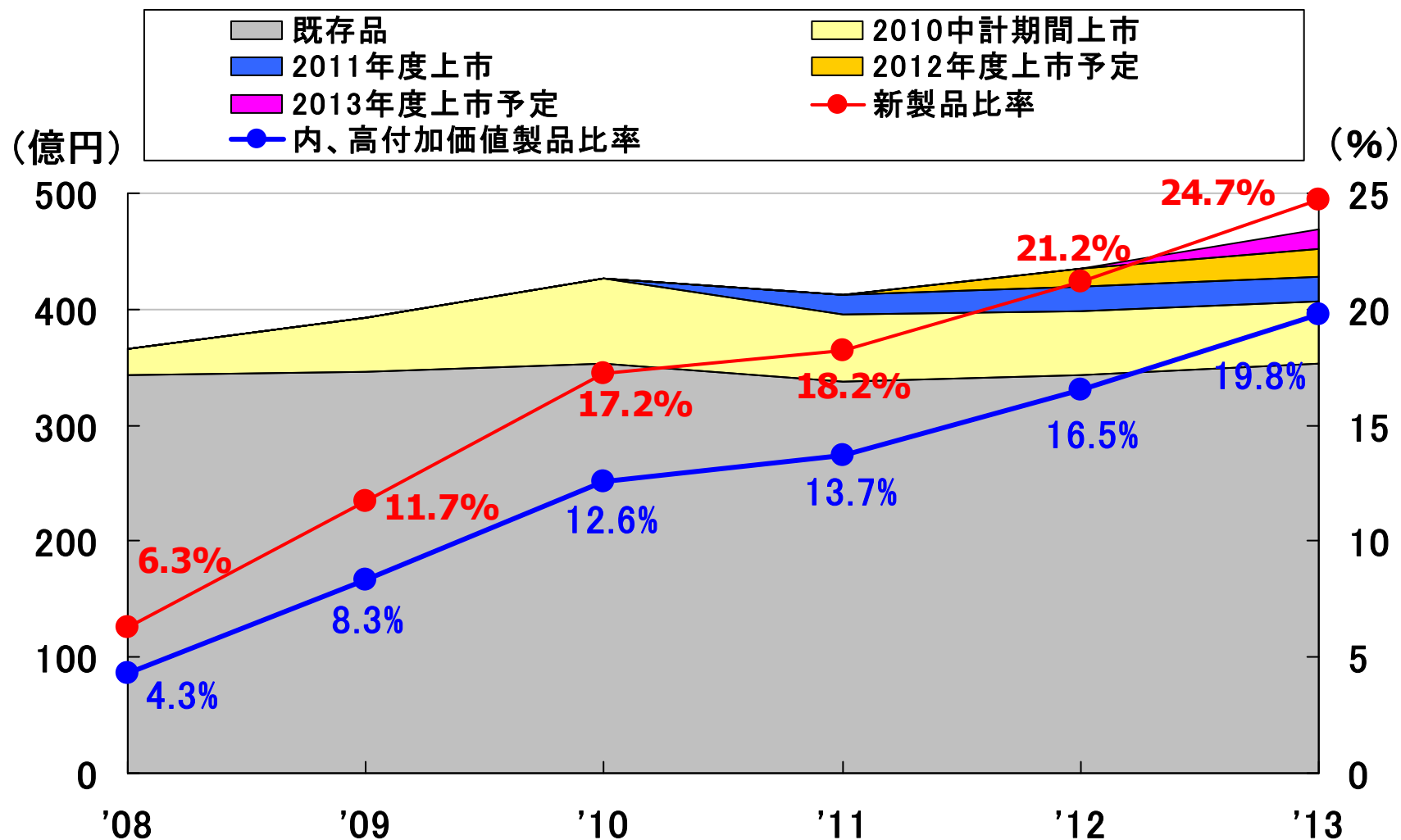
1.高付加価値製品の拡販

1-2. 高付加価値製品へのシフト

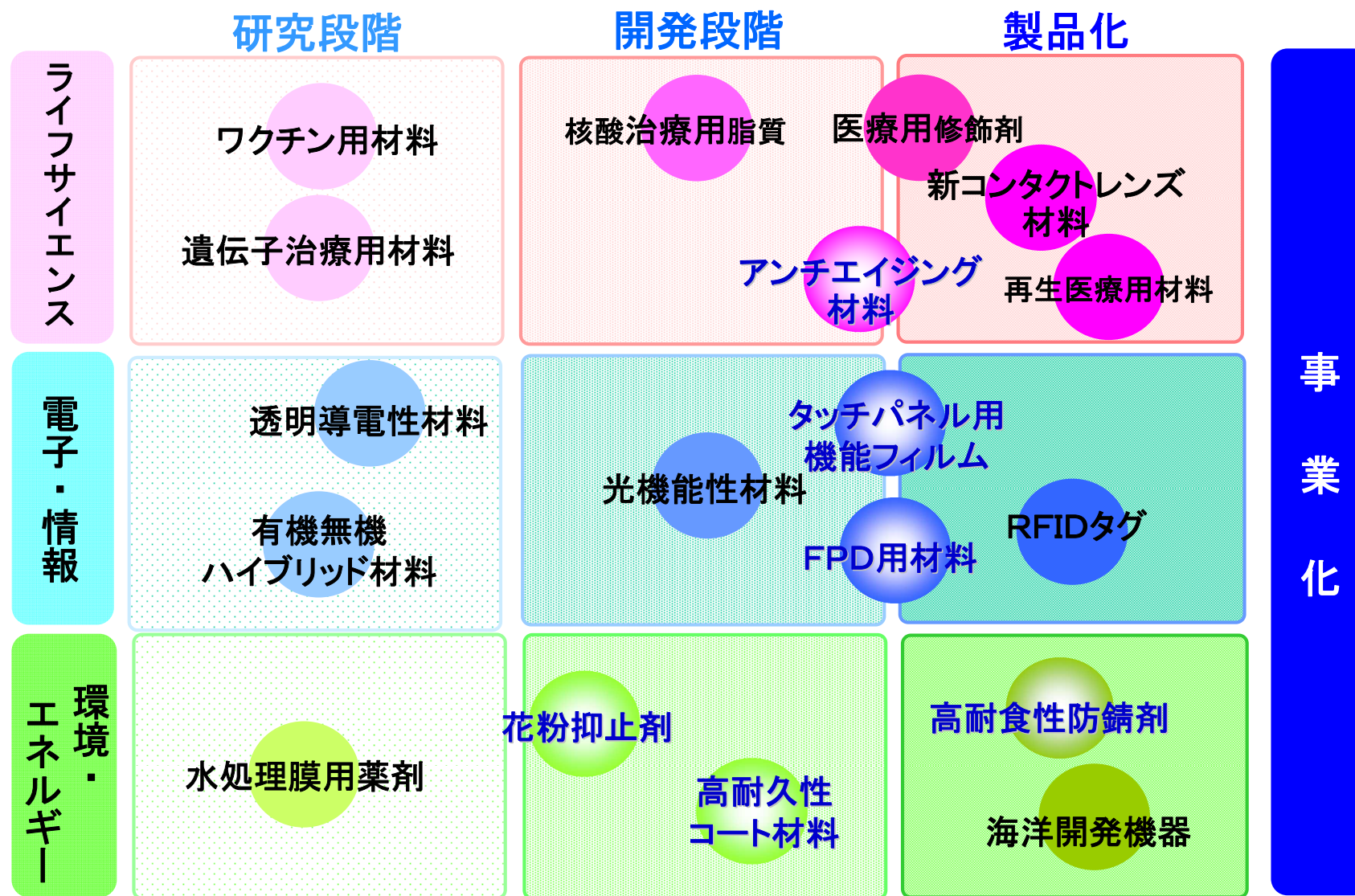


1.高付加価値製品の拡販

1-3.新製品による獲得限界利益



1-4. 次世代を担う新アイテム



事業化

1.高付加価値製品の拡販

1-5. 産官学との連携・技術導入例

| 関係先 | 概要 | プレスリリース |
|---|-----------------------------------|---------|
| 《共同開発》 | | |
| フィンランド技術庁、オール大学、他 | プリンテッドエレクトロニクス用無機インクの開発 | 2011年6月 |
| 大阪大学 | コロイド溶液の銅インキの開発 | 2012年2月 |
| 《連携》 | | |
| 産学連携推進機構、産業技術総合研究所、農業生物資源研究所、民間企業5社(日油含む) | 花粉問題対策事業者協議会(仮称)の設立発起人会の結成 | 2012年3月 |
| 《技術導入》 | | |
| ENZON社 (米国ニュージャージー州) | 同社の活性化PEG特許(全28件)の、ライセンス契約締結 | 2010年3月 |
| 《新製品》 | | |
| SAVIENT社 (米国ニュージャージー州) | FDA認可の製剤(痛風治療薬)に使用する活性化PEGの供給契約締結 | 2010年9月 |

※産官学との連携・技術導入事例:61件(2011年度)

1-6. 研究開発機能の強化

➤ 研究開発要員の増員

■ +5%対2011年度

➤ 研究設備・体制の強化

■ 油脂化学製品 新油化学研究所竣工

■ 組織再編・テーマの選択と集中

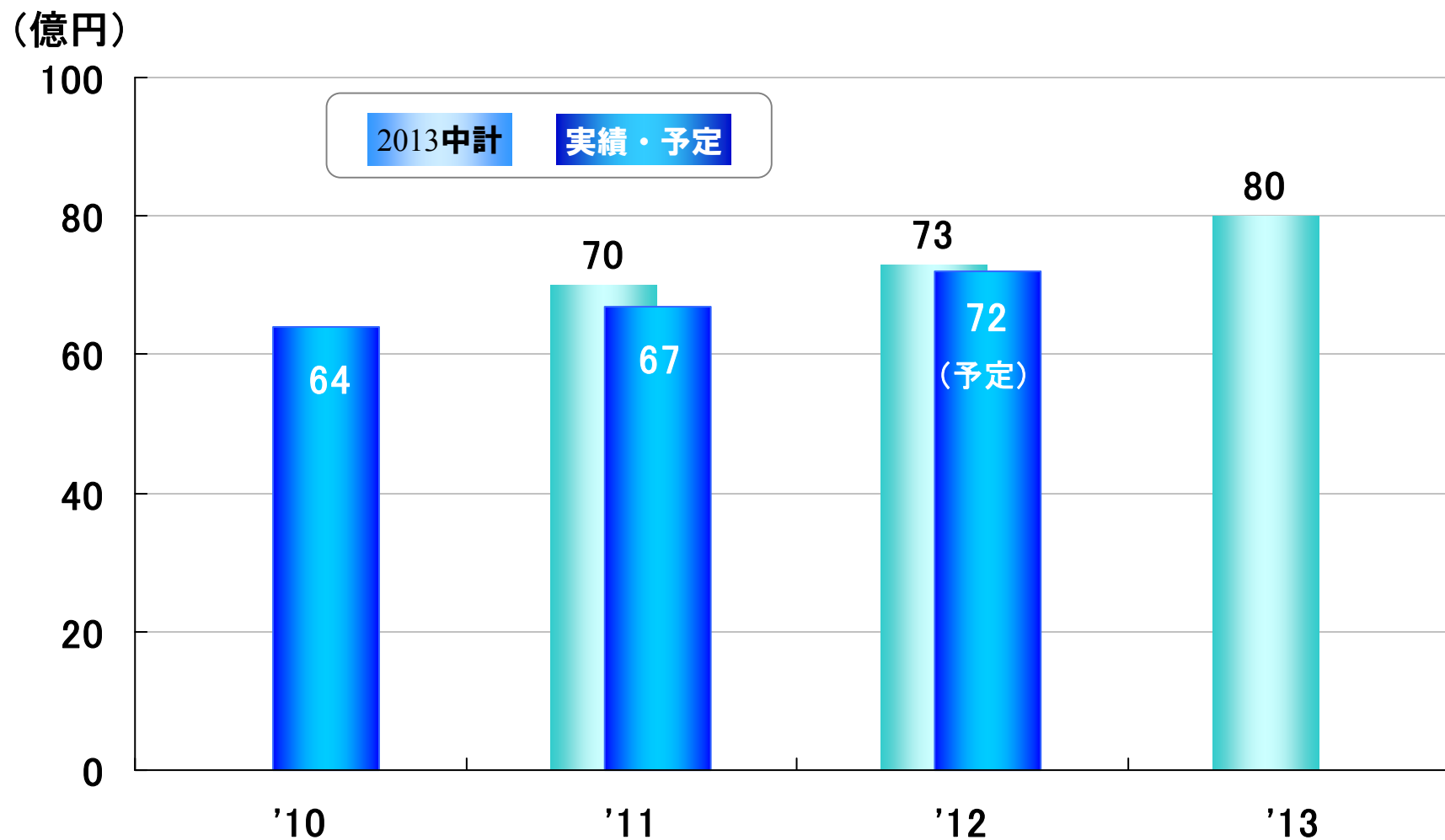
➤ 海外研究拠点・受託生産拠点の設置計画の推進

■ 環境対応(水系)防錆剤 研究開発センター新設(仏)

■ ライフサイエンス分野での提携先探索

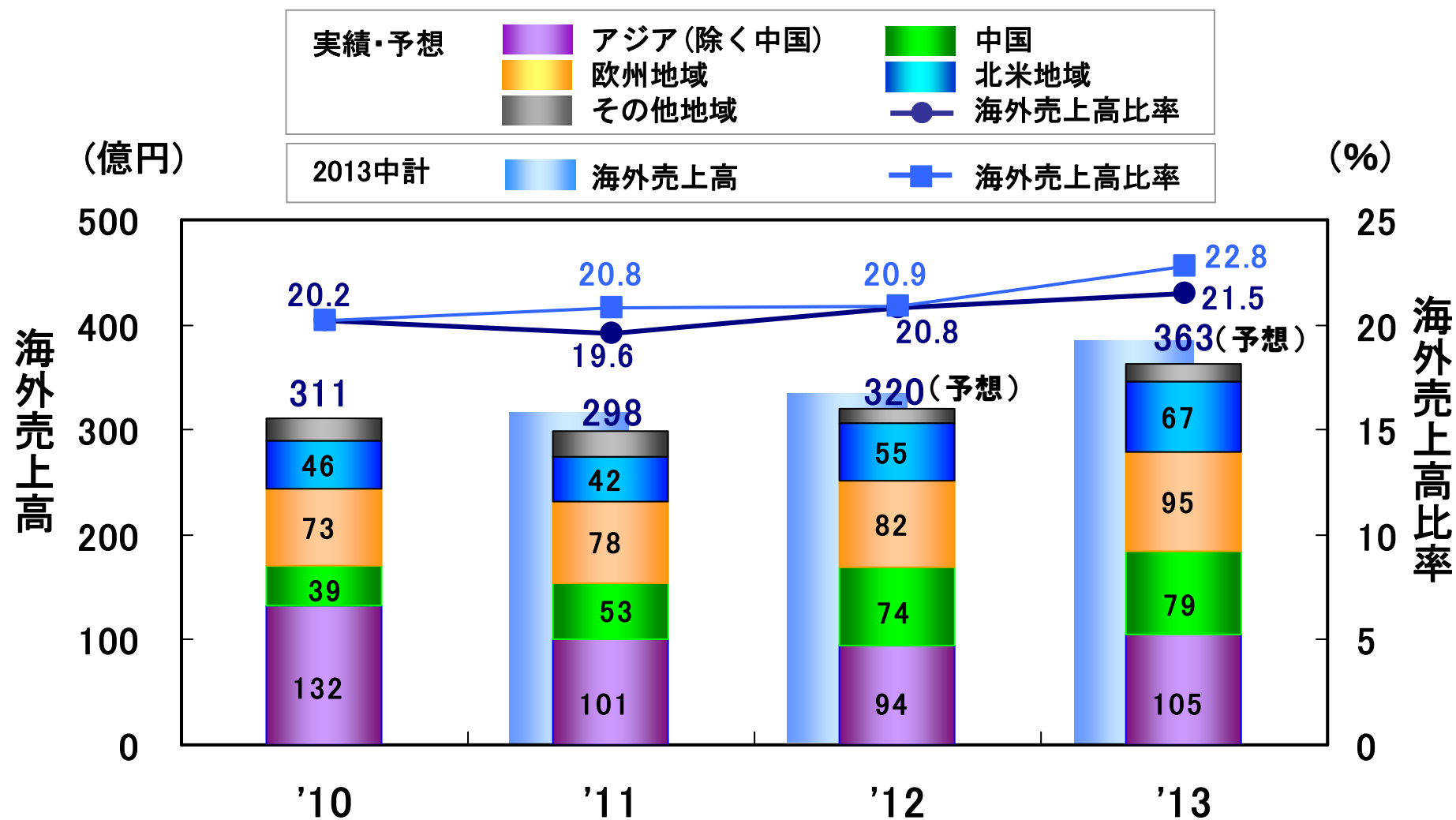
重点分野への資源傾斜配分

1-7.研究投資



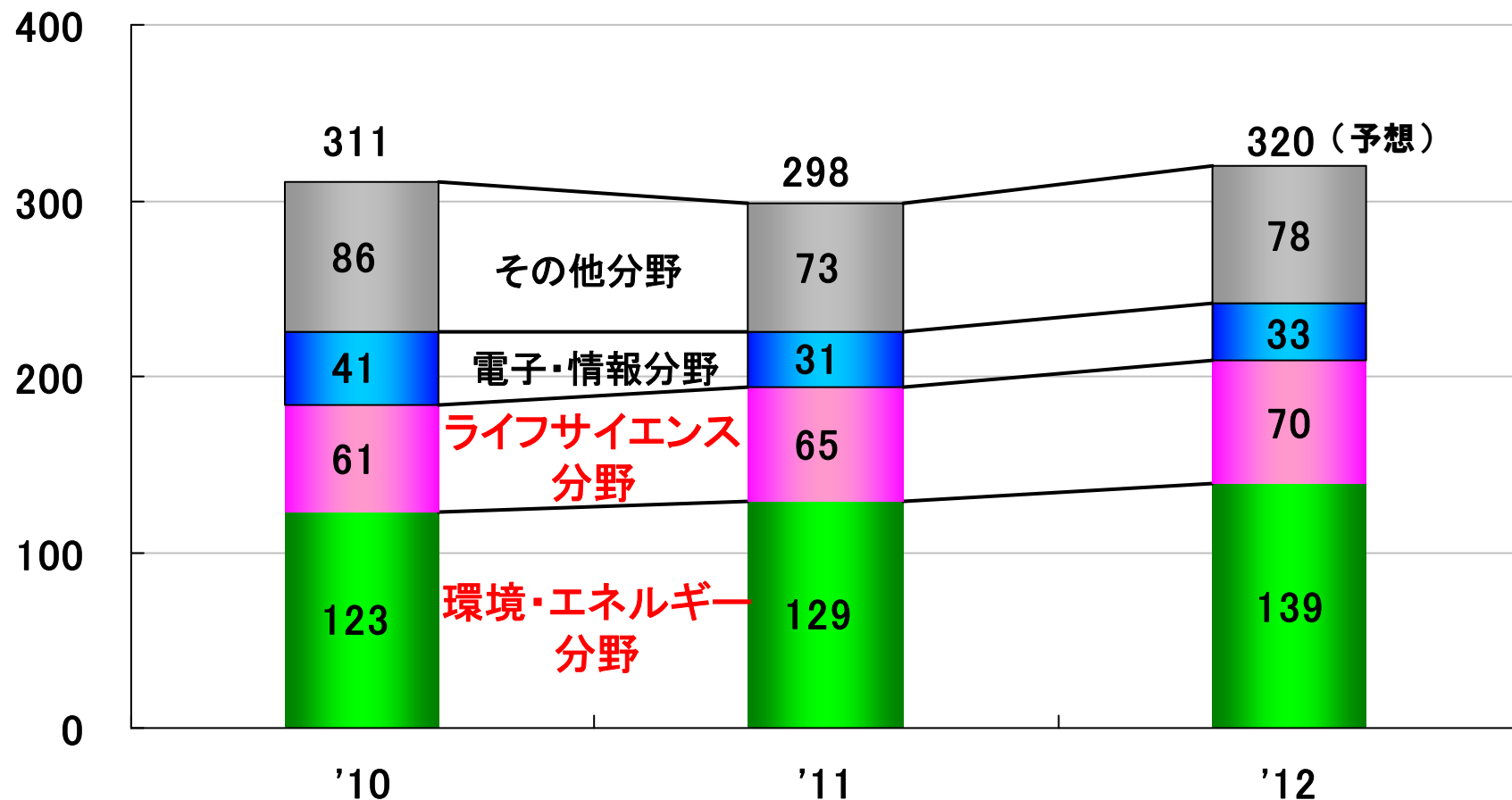
2.海外展開の加速

2-1. 海外売上高実績・計画



2-2. 分野別海外売上高

(億円) **ライフサイエンス、環境・エネルギー分野拡大**



2.海外展開の加速

2-3. 海外向け拡販製品

| 分野 | 商品 | 市場 |
|----------|--------------------|-------|
| ライフサイエンス | 化粧品用:機能性素材 ※ | 中国・韓国 |
| | 医薬用:活性化PEG・新規修飾剤 ※ | 欧米 |
| | 医薬用:核酸治療用脂質 | 欧米 |
| | コンタクトレンズ用:レンズ素材 ※ | 欧米 |
| 電子・情報 | タッチパネル用:機能フィルム | 中国・韓国 |
| | 液晶ディスプレイ用:オーバーコート剤 | 中国・韓国 |
| | 航空機部品用:RFIDタグ | 欧米 |
| 環境・エネルギー | 家電用:環境対応型冷媒用潤滑油 ※ | 中国 |
| | 自動車部品用:特殊防錆処理剤 ※ | 中国 |
| | 自動車部品用:高性能・省エネ型防錆剤 | 欧米 |
| その他 | 合成樹脂用:有機過酸化物 | 中東 |

※2011年度の地域売上高が対前年5%以上成長した製品

2-4. 海外拠点の強化

➤ 中国市場における販売ネットワークを強化

■中国販社(開業:2011.5)の増強

➤ 米国医薬関連ベンチャー企業への対応強化

■米国西海岸にDDS・LS技術営業員を増強

※ライフサイエンス分野

➤ 海外での供給能力強化

■常熟日油化工(中国江蘇省)の増強計画の推進

※環境・エネルギー分野

➤ 海外営業人員を増員

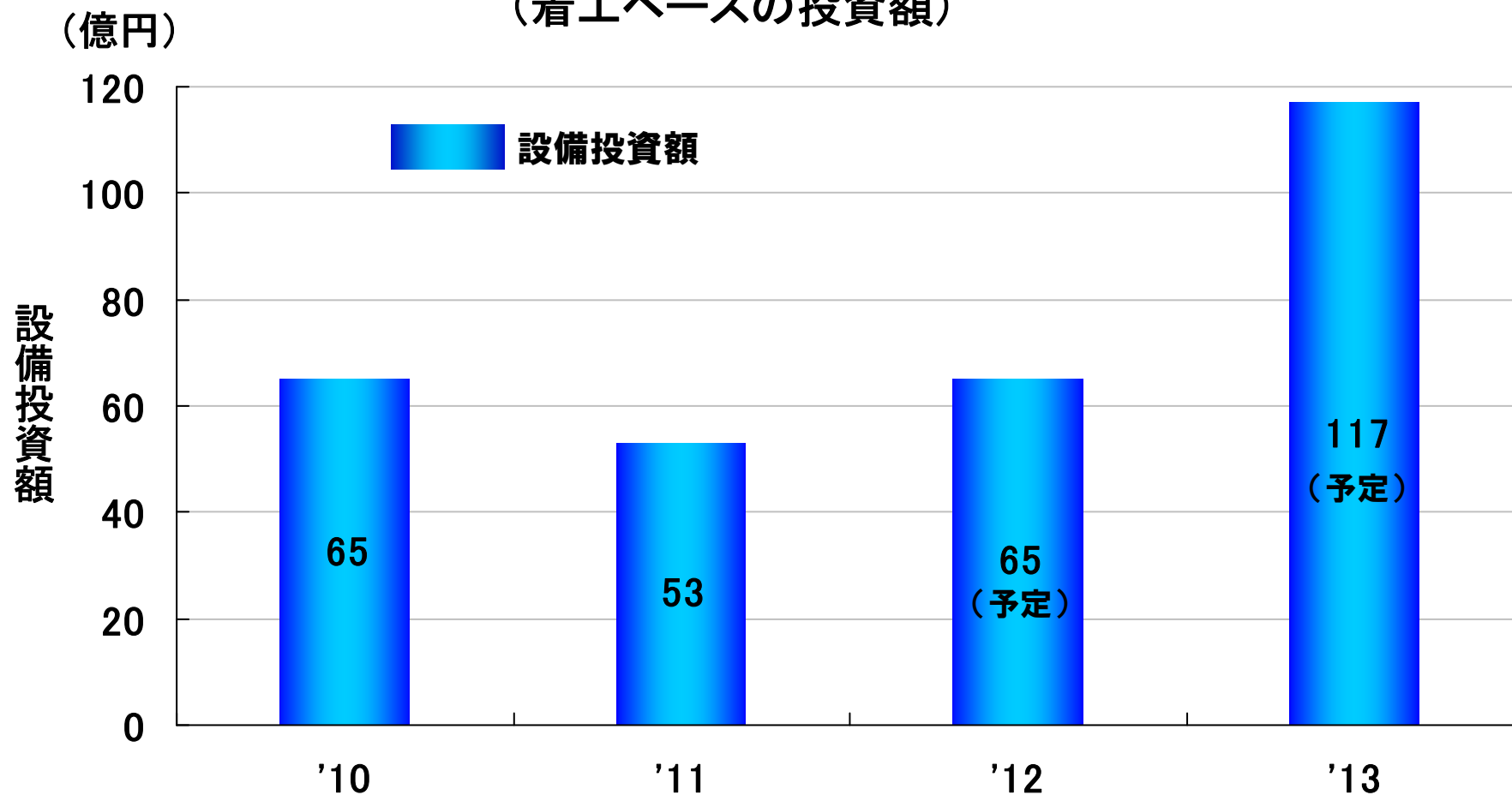
3-1. 収益基盤強化の施策

- 高付加価値製品の拡販
- 海外展開の加速
- **生産性の向上**
 - 生産効率のアップ
 - 原価低減
- **事業・製品の選択と集中の推進**
 - 低採算製品の整理・統合
- **戦略的設備投資の推進**

3.収益基盤の強化

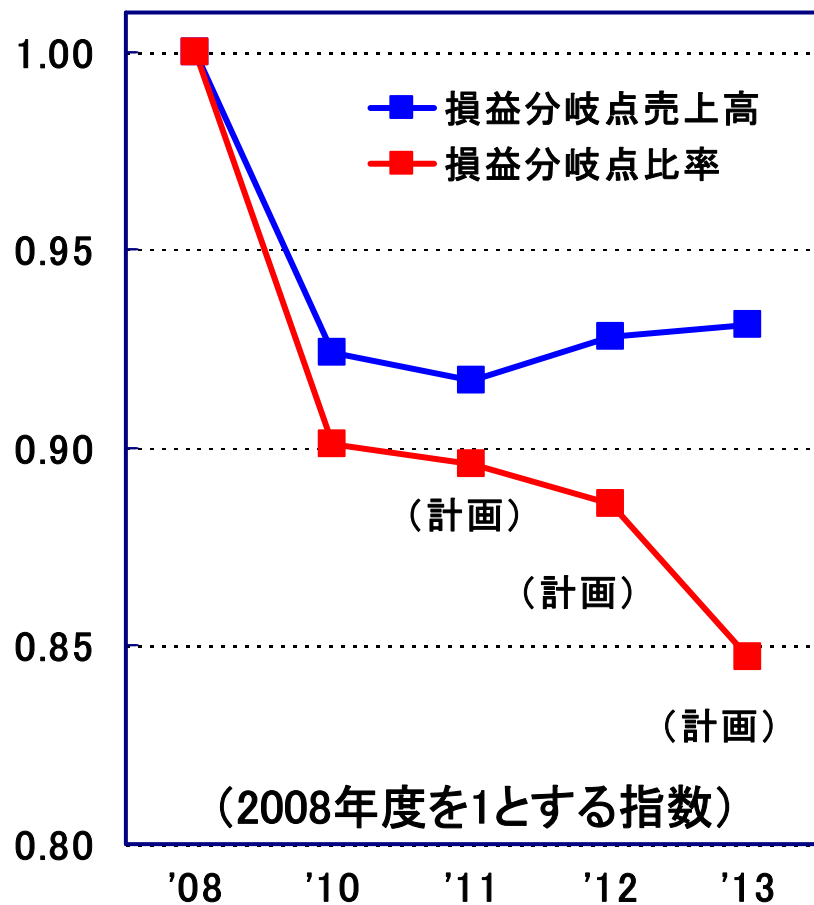
3-2. 設備投資計画

(着工ベースの投資額)

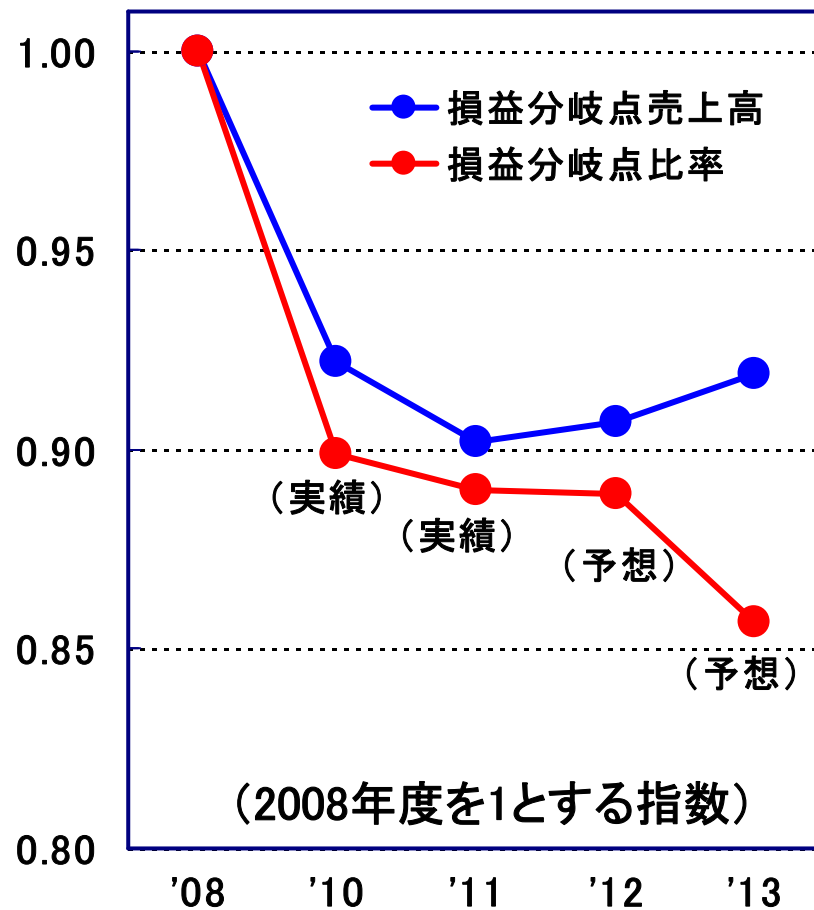


3-3. 生産性

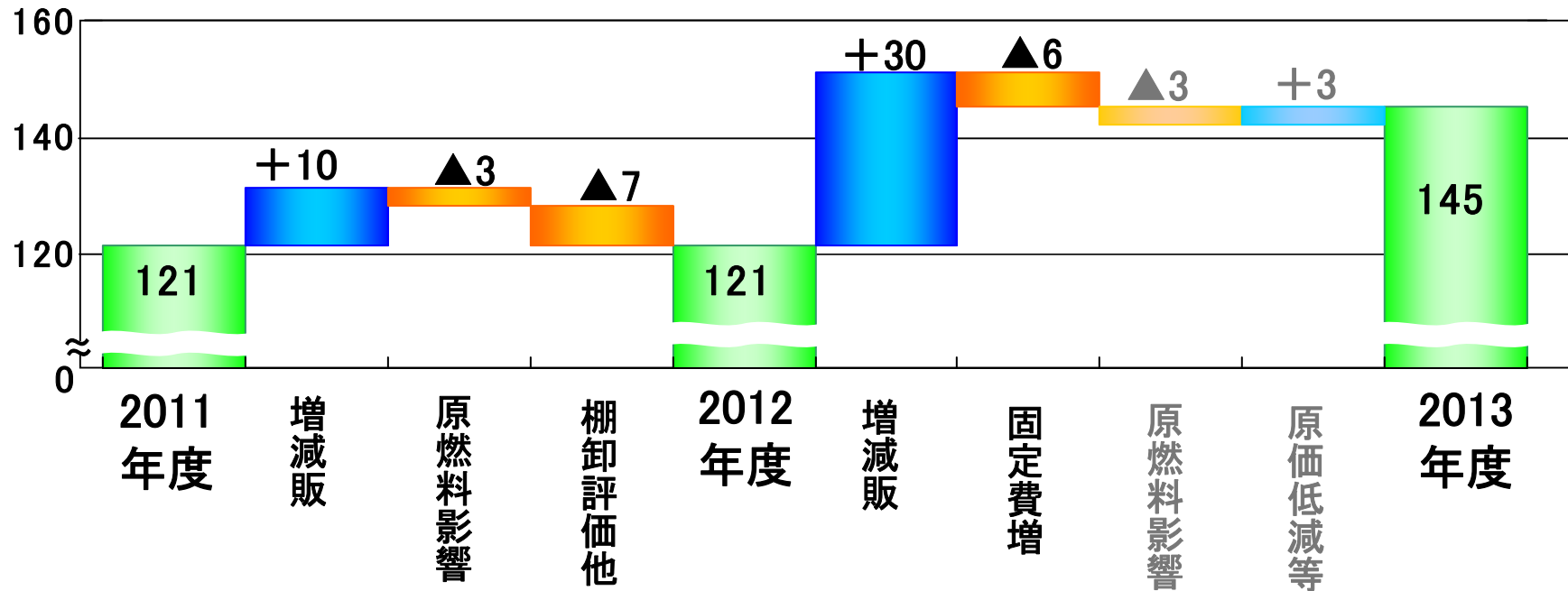
13中期経営計画



実績・目標



2013年度経常利益目標



| 【損益への影響要因】 | 【'11→'12】 | 【'12→'13】 |
|-------------------|-----------|-----------|
| 増減販の内、 高付加価値製品 | +14 | +24 |
| 固定費の内、 研究開発費 | | ▲7 |

＜セグメント別内訳＞

| | | |
|----------|-----|--------------|
| 機能化学品 | +10 | 環境・エネルギー関連製品 |
| ライフサイエンス | +11 | 医薬用修飾剤 |
| | | 化粧品用機能性素材 |
| 化薬 | +3 | 海洋機器 |

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 (IR室 金万、根岸)
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話 : 03-5424-6651
F A X : 03-5424-6803
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>